

## 研究課題名 胸部ステントグラフト末梢留置部位に関する研究

### 1. 研究の対象

2008年1月から2021年6月までに当院で胸部ステントグラフト内挿術を受けた方を対象とします。

### 2. 研究目的・方法・研究期間

胸部ステントグラフト内挿術（TEVAR）は胸部大動脈瘤に対する有効な治療法です。ステントグラフトを正確に留置することが、十分な治療効果を得るために重要ですが、手技中に目標とした位置に留置出来ないこともしばしば経験されます。手術を行った方の手術内容や、術前後のCT画像を解析し、不正確な留置に影響を及ぼす因子について検討します。研究期間は、実施承認日からから2024年3月31日までです。

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

現病歴、既往歴、入院後経過、CT画像、手術記録を使用します。

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学医学部附属病院 血管外科 佐藤 誠洋  
〒466-8550 愛知県名古屋市昭和区鶴舞町 65 番地  
052-744-2224

研究責任者：

名古屋大学医学部附属病院 血管外科 古森 公浩  
052-744-2224